

様式 1 数値目標及び具体的な取組の進捗状況について (重点施策見直し案)

1 数値目標

図書館、学校等で「本を読むきっかけの提供」や「本を読むことの習慣化」に取り組み、自主的に読書をする子どもを増やします。

目標		令和 5 年度実績	推進状況 (令和 6 年度実績)	目標値 (目標年度: 令和 7 年度)	推進状況評価
1か月に1冊以上読書する子どもの割合 ※1	小学校 5 年生			90.6%	
	中学校 2 年生			83.8%	
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、読書をする子どもの割合 ※2	小学校 6 年生			83.7%	
	中学校 3 年生			70.8%	

※1 「基礎・基本」定着状況調査(広島県教育委員会実施)による数値。目標値は、過去4年間(平成28年度～令和元年度)の広島県全体の平均値とし、それ以上の達成を目指す。
令和3年より「広島県児童生徒学習意識等調査」となり、新たに「1冊より少ない」が選択肢に追加されたが、目標設定時の考え方と合わせた「読んでいない」を選択した児童生徒のみを除いた割合を進捗状況数値とする。

※2 全国学力・学習状況調査(文部科学省実施)による数値。

2 具体的な取り組み

重点施策 (令和 6～8 年度推進)

基本方針	重点施策	実績		推進状況 (令和 6 年度実績)	目標値 (目標年度: 令和 8 年度)	推進状況評価	担当課
		令和 4 年度	令和 5 年度				
家庭	幼稚園・保育園等における家庭での読み聞かせの促進	家庭での読み聞かせの促進を実施した幼稚園・保育園等の割合 100%			家庭での読み聞かせの促進を実施する幼稚園・保育園等の割合 100%		指導第一課 保育企画課
		絵本の貸出を実施した幼稚園・保育園等の割合 71% (新型コロナウイルス感染症対策のため27園が中止)			絵本の貸出を実施する幼稚園・保育園等の割合 100%		
地域	家庭読書アドバイザー ※3 の派遣による親子読書の推進	派遣回数 23 回 (家庭読書アドバイザー 18 名)			派遣回数 35 回		こども図書館 (生涯学習課)

基本方針	重点施策	実績		推進状況 (令和6年度実績)	目標値 (目標年度：令和8年度)	推進状況評価	担当課
		令和4年度	令和5年度				
地域	ソーシャルメディアを活用した啓発・広報の強化	広島市のフェイスブック等を活用した、お薦め本の紹介 年間 24回			広島市のフェイスブック等を活用した、お薦め本の紹介 年間 24回		中央図書館 (生涯学習課)
地域	視覚障害者等が利用しやすいコーナー作りや書籍の充実【新】	●りんごの棚の設置館数：3館（こども図書館、安芸区図書館、佐伯区図書館） ●子ども向け書籍の蔵書数 ・カセットブック：384本 ・デジ図書：42点 ・マルチメディアデジ図書：177点 ・CDブック：129タイトル186点 ・大活字本：589点 ・布絵本：88点* ・点字図書・点訳絵本*：984点 ※一般・子ども向けの区別が困難なため、全体の蔵書数			図書館においてりんごの棚（様々な理由で本を読むことが難しい子どもたちを対象とした書籍を集めたコーナー）を設置（まんが図書館及びあさ閲覧室を除く）するとともに、子どもの視覚障害者等が利用しやすい書籍（大活字本、点字図書・点訳絵本等）の充実を図る。		中央図書館 こども図書館 (生涯学習課)
学校等	読書活動の全体計画・年間指導計画の活用・見直し	見直しをした学校の割合 小学校 100% 中学校 100% 高等学校 100%			全ての小・中・高等学校で現計画を活用し、毎年見直しを行う。		指導第一課 指導第二課
学校	本や資料を基に情報を活用する力を育てる指導の充実	様々な本や資料を基に自分の考えをもたせる指導をしている学校の割合 ※4 小学校 93.6% 中学校 95.4%			全ての小・中学校で様々な本や資料を基に自分の考えをもたせる指導を行う。		指導第一課 指導第二課
連携	図書館と学校・学校図書館の連携・協力 ※5	図書館と連携した活動を行っている学校の割合 小学校 68.8% 中学校 25.0% 高等学校 100%			全ての小・中・高等学校で図書館と連携した活動を行う。		中央図書館 こども図書館 指導第一課 指導第二課 (生涯学習課)

※3 参観日などの機会に幼稚園・保育園・認定こども園等に出向き、読書の意義や楽しさ等を保護者に伝えるボランティアのこと。

※4 「基礎・基本」定着状況調査学校質問紙調査（広島県教育委員会実施）による数値。

※5 図書館訪問、職場体験学習、学校への蔵書・資料等の貸出や出前事業（おはなし会等）等のこと。